

## 三田市スポーツ推進審議会 会議録

開催日時	令和5年6月1日（木曜日）午後6時30分 ～ 午後8時30分
開催場所	三田市役所 2号庁舎2階 2201会議室
委員	森田会長・芝野副会長・谷委員・有坪委員・齊藤委員 榎並委員・橋元委員・古沢委員・木田委員・柳川委員(WEB) (欠席)新谷委員・和田委員・小西委員・加門委員
事務局	地域共創部 印藤部長、同部市民協働室 横溝室長 (以下、部・室名を省略) 文化スポーツ課 下山課長、同課米村係長、同課山崎事務職員 同課村瀬事務職員
傍聴人	2人

事務局	<p>印藤部長あいさつ 事務局職員の紹介 出席委員数の報告（10名出席、会議は成立） 配布資料の説明</p> <p>これより、審議に入りますので、議事の進行を森田会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、次第に従いまして、会議を進めてまいります。</p> <p>説明報告事項の（1）「第2次三田市スポーツ推進基本計画の令和4年度実施状況」についてと、（2）「第2次三田市スポーツ推進基本計画進捗状況概要(H30～R4 総括)」について、関連がありますので、一括して事務局より説明報告をお願いします。</p>
事務局	（事務局より説明報告）
会長	ただいま、事務局より説明を受けましたが、ご意見を伺いたいと思います。
委員	資料2の第2次三田市スポーツ推進基本計画進捗状況概要（これまでの評価）の総合マイレージを活用したスポーツの推進、取り組み内容等のところで、令和2年度よりマイレージ制度の転換とありますが、具体的にどのような転換があったのか知りたいです。イベントの参加がポイントの対象とならなかったため減少とありますのでその点が気になりますので教えていただけますか。
事務局	令和元年度に国がスマートシティの方針を進めることになり、市民の健康づくりについては、国が進めるパーソナルヘルスレコードの普及が見込まれることになりました。市が実施していました三田いきいきマイ

	<p>レージ制度で、健診、スポーツ教室などに参加するとポイントを付与する、マイレージポイント制度は、国の方針をふまえ検討した結果、見直すことになり、令和2年度で終了することになりました。総合的に、デジタルを活用しながら今後は、健康アプリの導入を検討していると所管課からは聞いております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。国の方針で三田市もそれにならって転換したということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>国の施策方針を鑑みて、三田市で展開しているマイレージ制度の方針転換をし、終了することにしたということです。新たに、デジタルを活用しながら、アプリを検討していくということです。</p>
委員	<p>これから、アプリを開発するということがよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>その通りです。</p>
会長	<p>他に、何かご意見等ございますか。</p>
委員	<p>文化スポーツ課や市が主催、後援する取組について、進捗状況、実績を資料で拝見させていただきました。私が、以前から申し上げているように、行政、公共が推進するというのももちろんですが、最近は、民間主導型になってきていると思います。当初から水泳は、民間主導です。キャンプ、アウトドアなどは、民間企業や、NPO 法人がそうです。最近の方向性として、行政から民間にイニシアティブを渡していく方向にこれから進んでいくと思います。とりわけ、スポーツクラブ、フィットネスクラブについては民間主導です。色々な新しい現象が起きてきていると感じます。一般市民の人たちは、有料ですが何年もフィットネスに通っています。調査報告の数字ですが文化スポーツ課が掌握する数字よりも多いのではないかと印象です。私は、70歳を超えていまして、阪神シニアカレッジに参加しています。加東市の生涯学習カレッジでは、文化サークルだけではなく、スポーツサークル例えば、ヨガ、気功、護身術、スポーツ吹矢、ニュースポーツを含めて、たくさんの高齢者の方たちを対象としたカリキュラムがあり、また、新たな、ニュースポーツの紹介をしています。市民のみなさんは、このような場所で、スポーツをし、コミュニティを築いているのではないのでしょうか。三田市の生涯学習カレッジではスポーツのカリキュラムをあまりみかけない印象がありますので、ノルディック・ウォーキングのカリキュラムの提案をすることもいいと思います。多くの市民は、日常的にこのような場所で、体を動かし、コミュニティをはかっていると思います。行政が開催する大会、イベントは、周知力があり、参加する市民も多いですが、日常のスポーツコミュニティをどう掌握するかが課題だと思います。これまで、積極的に関わりを持ってこなかった民間主導型の団体にたいして、守秘義務等ハードルはあると思いますが、市が推奨するノルディック・</p>

	<p>ウォーキングを有効的に啓発することができるのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>生涯学習カレッジにつきましては、55歳以上の方たちに参加、活躍していただいています。依頼があれば、スポーツ吹矢、ノルディック・ウォーキングの講座を行っています。カリキュラムとしてできるのか、数値に含めることができるのか難しい点もありますが、検討させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>行政が、すべてをセットする時代から、民間（営利目的ではない）で活動している組織と連携する時代へと変化してきていると感じています。基本方針5の36番にスポーツ団体の活動支援、連携強化のところで記載されています。一方で、各種目協会が、指導者の資格制度を進めていて、今後は、資格をもった指導者の数が増えていくことが見込まれます。指導者の活用、派遣などどのように発展していくか考えて行く必要があり、その際に、行政が一元管理をするのか、可能性のある民間を育てて、運営してもらうのかは、新しい計画のなかで、一番重要な課題のひとつだと思いますので、議論を進めていきたいと思います。</p>
会長	<p>その他、何かご意見ございますか。</p>
委員	<p>1つ質問があるのですが、スポーツクラブ21の会員の年齢層別の数値はわかりますか。</p>
事務局	<p>現状、そこまでの数値は把握していません。</p>
委員	<p>これまでのお話のなかで、高齢者に対するスポーツ活動の支援について三田市が取り組んでいることは、理解できました。現在、中学校の部活動の地域移行について進められていますが、その中で、部活動の地域移行の受け入れ先としてスポーツクラブ21の役割が、大きく関係してくると認識しています。スポーツクラブ21に加入して活動をしている若い年齢層がどの位のパーセンテージを占めているのか知りたいです。市内の団体でクラブやサークルを作って、子どもから高齢者までメンバー構成されていて、活動しています。部活動の地域移行が進められるなかで、若い世代にスポーツクラブ21の役割、期待度がどのくらいあるのかが気になり、質問させていただきました。</p>
委員	<p>私が代表を務める、スポーツクラブ21についてのお話になりますが、20年前は、基本的に全年齢のバランスがとれていましたが、現在は加入メンバー全員が歳を重ねて非常に高齢化が進んでいます。昔は、クラブに参加している割合は、3割ほどでしたが、現在は、部活動に参加する割合は、少なくなってしまうと思います。これは、私見ですが、3歳</p>

	<p>の子どもにスマートフォンを渡すと、操作方法はわからないけれども、にこにこ楽しそうに遊んでいます。WBCで、日本が活躍し、国民全体でかなり盛り上がったので、若い世代の野球、スポーツ人気があがる契機になると思ったのですが、残念ながら期待するほど、スポーツをする機会に繋がっていないように感じます。また、国民全体で応援するという感覚が昔より、しぼんできているように感じました。昔は、部活動に参加している若い世代の割合は、3割ほどでしたが、現在は、1割以下になっています。さらに、少子化が拍車をかけている状況です。クラブでも、高齢化が進んでいますが、75歳以上の方でも、元気な方は、クラブ活動に参加し、社会的活動もされています。政府の方針により、少子高齢化の解消ができるかどうか分かりませんが、今後は、デジタルやゲームに興味を持つ若い世代をスポーツに興味を持たせるような方向にもっていく必要があると思います。スポーツクラブ21として、部活動の地域移行についてですが、指導員育成について、資格者というのはハードルが高いです。過去に教職関係のお仕事をしてきた人たちは比較的資格を取りやすい傾向にあります。今後、20代以降の資格指導者を育成することが課題の1つになると思います。部活動の地域移行は、令和4年から国、県の方針で現在、進めているところですが、他市の状況をみても、受け皿として手をあげているクラブは、少ない状況であると思われます。</p>
<p>会長</p>	<p>地域移行についてスポーツクラブ21への期待はあるけれども、三田市全体としての状況は厳しいと理解できます。近々の課題として、文化活動、スポーツ活動の地域移行の受け皿をどのような仕組みを作るかについてはスポーツクラブ21だけではなく、スポーツ種目協会、地域、文化スポーツ課、学校にとって重要な課題です。</p>
<p>会長</p>	<p>次の課題に移りたいと思います。  続きまして、2点目の(3)の「第3次三田市スポーツ推進基本計画策定及び計画にかかる令和5年度の主な取り組みについて、事務局より説明報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局より説明報告)</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま、事務局より説明を受けましたが、ご意見を伺いたと思います。その他、説明報告以外で何かご質問などあればよろしくお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>知的障害者施設に勤めている立場として、三田国際マスターズマラソンのファンランの部門では、車イスでの参加ができるのは、活気的なことですし、それに向けて頑張れる材料を提供していただけるのはありがたいことだと思っています。第3次三田市スポーツ推進基本計画の「する」「みる」「かんじる」「ささえる」というネーミングは、とてもいいと感じました。「みる」こともスポーツをしていると思えるのはいいと</p>

	<p>思います。また、住んでいるマンションで、毎週土曜日、月4回100歳体操の地域活動に参加させていただいています。90歳になる高齢者の方も元気に参加されています。このような小さな地域交流の場所においても、市がノルディック・ウォーキングの教室を開催していただけたら、普及が進むのではないかと思います。ノルディック・ウォーキングは、子どもも参加できるスポーツなので、高齢者の方たちは、孫と一緒に参加できるとなれば、喜んで参加すると思いますし、子どもが参加するなら親も参加してみようとなれば3世代での参加も見込めるので、普及が進むと思います。私は、大阪出身ですが、20数年前から三田市に住んでいて、「三田市は何が有名なの?」と聞かれることがあるのですが、その時に、宝塚市や丹波篠山市と比べると、三田市についてPRできるものがなく、宝塚市より奥で、丹波篠山市より手前ということしか言えなくて、もどかしいと感じています。三田市といえば、スポーツでは、ノルディック・ウォーキングがさかんに行われているというPRができるようになればいいと思います。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございます。基本方針1において、三田らしいスポーツの推進として、ノルディック・ウォーキングの普及に努めるとあります。地域コミュニティにアプローチするのも1つの方法として検討していただきたいと思います。</p>
会長	<p>学校での部活動地域移行の状況、生徒たちの受け止め方はどうでしょうか。</p>
委員	<p>3年前から部活動地域移行の方針が決まり、学校としてどのように進めるべきか悩んでいる状態が続いています。生徒たちは、変わりなく、部活動を一生懸命頑張っています。規模が小さな中学校では、部活動の中でチームを組めなくなってきましたので、学校の外で活動する生徒たちも増えてきています。どこで活動するにしても、生徒たちが一生懸命スポーツをしたいという気持ちを大事にしたいと学校の先生たちも考えていて、地域の方たちも協力するといっていたいただいているのが心強いです。具体的に何を協力していただくか、何も決まっていないのが現在の状況です。今年度から、地域移行の1つとして、地域クラブが中体連の総体に参加できるようになります。また、地域の方も参加していただく会議を開催します。地域の方たちと連携をとりながら、上手く部活動の地域移行を進められるようにしていきたいと思っています。生徒たちのほうが、きっと早く状況の変化を受け入れていくと思います。私たち教師側は、リスクマネジメントを考えて、前に進めていない状況です。地域の方たちと連携しながら、できることから、進めていけたらと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。部活動の地域移行については、教育委員会と文化スポーツ課がタッグを組んで進めていくことになっています。状況報告や、気になる情報、問題点など事務局まで報告いただければと思い</p>

	<p>ます。</p>
<p>会長</p>	<p>障害者スポーツにおいて今後5年間の課題、希望することなど何かご意見等ございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど事務局の説明がありましたが、昨年度「さんだファミリースポーツカーニバル&amp;市民チャレンジデー」において、企画を一緒にさせていただいて、ブラインドサッカーの体験会に1日参加させていただきました。トータル10組くらいの親子、家族連れで参加されていました。体験会の後、子どものサッカーチームの指導者をしているお父さんとお話する機会があり、「ブラインドサッカーも意外とできるものだな」とか「同じサッカーだけれど、普通のサッカーと実際にアイマスクをして見えない状態でするサッカーは、別物のサッカーだ」という感想をお持ちでした。また、「子どもたちもこのような機会があれば、また参加したい」ともおっしゃっていました。このような機会があれば、すそのが広がっていくと思います。障害者スポーツといえは、障害のある人たちがするスポーツというイメージがあるけれど、もう少し考え方を変えれば、障害のあることをハンディキャップと言いかたをしますが、逆にキャップハンディを楽しんでもらえるように、ハンディをかぶるというスポーツととらえると、車イスバスケットボールは、車イスを使用したバスケットボール、ブラインドサッカーは、アイマスクをしてボールを音をならしてするサッカー、障害者陸上で、アイマスクをして見えないなかで50メートル走を全力で走ると何が違うのかという違う切り口で、障害者スポーツをキャップハンディで楽しむということを知ってもらえれば、障害者スポーツをより近い距離で理解してもらえらると思います。障害者を理解してもらうために、支えるというのではなく、障害者スポーツを楽しむというキャップハンディというジャンルのスポーツというかたちで推進できれば、より障害者スポーツのすそのが広がり、支えるという意味でも支えてもらえやすくなるのではないかと考えています。障害者は障害者、高齢者は高齢者、子どもは子どもという枠で考えるのも1つの方法ですが、障害者スポーツをキャップハンディスポーツとして1つのジャンルとして推進してもらえれば、よりいろんな人とスポーツをしやすい環境になると思います。その点を組み込んでいただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。計画には、具体的に上がっていない取組ですが、大人は、どうしても世代や、性別で物事を考える傾向がありますが、現在の傾向は、社会的にインクルーシブ教育を進めていく時代へとってきています。子ども時代はとても柔軟に受け止めることができると思いますので、学校の授業のなかでキャップハンディスポーツに触れる機会を作ることができれば、地域にも広がっていき、すそのが広がっていくと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、よろしくお願いいいたします。</p>

委員	<p>先ほど発言がありましたが、三田国際マスターズマラソンで、ファンランの部門で車イスの方でも参加できると聞いて、とてもいい試みだと思います。見ている側、応援する側だけでなく、実際にマラソンに参加できるのは、大きな意味があることだと思います。あと、ノルディック・ウォーキングですが、2027年のワールドマスターズゲームズに向けて、もっと発信していくといいと思います。桜の季節にノルディック・ウォーキングのイベントをしたこともPRに繋がって良かったと思います。三田は桜がきれいだと自慢できる場所だと思いますので、これからも毎年桜の時期にノルディック・ウォーキングのイベントを開催すれば、桜がきれいというプラスアルファを活用したノルディック・ウォーキングのPRをしていくことができればいいと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。その他、ご意見等ありますか。</p>
委員	<p>今、とてもいい発言をいただいたと思います。三田市民の方たちが、三田市のいいところを発信していただく、それを市内で共有しながらスポーツを取り入れて取り組んでいくことで、三田市の良さをPRできるのではないかと思います。また、三田市でどのようなスポーツができるのかも知ってもらふ必要があると思います。この会でも、ノルディック・ウォーキングについて発言いただきましたが、まだまだ、普及が進んでいない印象を受けました。三田市で、ノルディック・ウォーキングの推進を進めて、6・7年になります。たくさんの課題があるということを受け止めて、三田市のいいところをPRしながら、普及につとめていけたらと思います。また、「キャップハンディスポーツ」という考え方は非常にユニークでいい考え方だと思います。次の5か年計画において、どのような取組をしていくのか検討するなかで、推進したい事業の1つになると思います。</p>
会長	<p>私の方から、発言させていただきます。第3次三田市スポーツ推進基本計画に沿って、事業を進めていくと思うのですが、多忙の中、限られたマンパワーで事業をすべて行うのは、実際に難しいと思います。全ての事業を同時に進めていくのは無理がありますので、年度計画を立てて、本年度は、この事業を中心に進めていく、継続して行っている事業については、マイナーチェンジをしながら行っていくことが大事になってくると思います。複数の課と連携して実施する事業については、調整が必要となると思いますが、次回の審議会では、事務局に具体的な行動計画、今年度については、この事業を中心に進めていくという方向性を示していただけると議論をしやすくなると思いますので、お忙しいと思いますがよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>このメンバーでの審議会は、終わりとなります。この2年間第3次三田市スポーツ推進基本計画策定にご尽力いただき感謝いたします。今回で最後になる委員の方も、引続きお世話になる委員の方も、これから</p>

事務局	<p>も三田市のスポーツに関心を持ち続けていただければと思います。</p> <p>それでは、本日、予定しておりました議事は終了しましたので、進行を事務局にお返しします。</p> <p>森田会長、ありがとうございました。</p> <p>閉会にあたりまして、市民協働推進室長の横溝より、ごあいさつさせていただきます。</p> <p>(室長あいさつ)</p> <p>以上で本日の会議は、終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
-----	---